

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

令和4年 5月 31日

(宛先)
滋賀県知事殿

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)

東京都品川区東品川2-3-14

東京フロントテラス

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)

Joyson Safety Systems Japan 株式会社

代表取締役社長 岩満 久好

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項・第25条第4項

第27条第1項→第27条第2項において準用する同条例

第26条第1項

第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項

の規定に基づき、

事業者行動計画を策定 (変更)

事業者行動報告書を作成

したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	Joyson Safety Systems Japan 株式会社 代表取締役社長 岩満 久好
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	東京都品川区東品川 2-3-14 東京フロントテラス

1 事業者の概要

事業所の名称	Joyson Safety Systems Japan 株式会社 愛知川製造所						
事業所の所在地	滋賀県愛知郡愛荘町愛知川658						
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	3	1	1	3	※産業分類・細分類名称を記載 自動車部品・附属品製造業	
事業の概要	自動車部品の設計・開発及び製造 チャイルド・シートの設計・開発及び製造						
従業員の数	662	人	作業時間	8	時間/日		
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	2	台	熱源設備	台	照明設備	台
	コンプレッサ	16	台	空気調和設備	102	台	その他 成型機 30台

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	令和4	年度	報告対象年度	年度
	終了年度	令和6	年度		

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

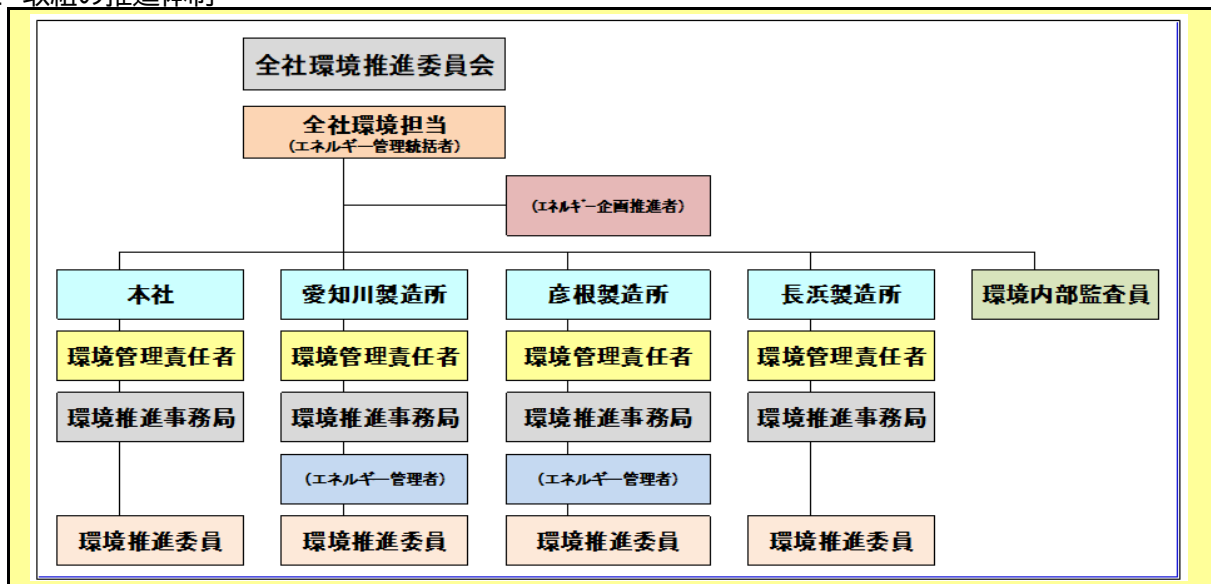
注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

CY22全社目標
 CO2排出量の削減
 長期目標 カーボンニュートラルに向け2030年度／FY31までに、CO2排出総量でFY14実績(12,038ton)の38%削減(7,463ton以下)を目指す。
 今年目標 CY22はCO2排出総量でFY14実績比 22%削減(9,389ton以下)又は CO2排出量原単位でFY14実績比 22%削減を達成する。

CY22愛知川製造所目標
 CO2排出量の削減
 CY22はCO2排出 総量でFY14比 22%削減 CO2排出総量4,544ton以下

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

省エネ対策としてFY14(平成25年度)以降、以下の取り組みを実施

- 照明のLED化
- 成型機の電動化
- 社用車の省エネ化
- 受変電設備関係(トランス／キュービクル)の更新
- 空調設備更新
- サーバ関係のクラウド化
- 不要箇所照明の間引き／消灯等
- 空調温度管理の実施(基準温度を設定し点検実施)

これらの取り組みにより、CY21(令和3年)では温室効果ガス排出量をFY14比で23%削減した。

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	トランス3台更新ー1380kWh/月(約▲4.8%)	2022年12月	
2	運用改善	不要箇所の照明消灯/昼休みの各執務室消灯	2013年度以前～	
3	運用改善	空調に基準温度設定し定期点検実施	2015年度～	
4				
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>CY22(令和4年)目標 : 4,544t-CO₂以下 (FY14(平成25年度)実績の22%減)</p> <p>注)上述の目標管理期間 : 2022年1月 ~ 2022年12月</p> <p>CY21(令和3年)に引き続き、CY22(令和4年)もCO₂総量で管理を実施する。</p>	

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
		(R4)年度	(R5)年度	(R6)年度	()年度	()年度
原油換算エネルギー使用量	kL	2,307				
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	3,585				
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	3,585				
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0				
CH ₄	t-CO ₂					
N ₂ O	t-CO ₂					
HFCs	t-CO ₂					
PFCs	t-CO ₂					
SF ₆	t-CO ₂					
エネルギー等原単位の推移						

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
		()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh					
上記のうち自家消費量	kWh					

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(R4)年度	(R5)年度	(R6)年度	()年	()年
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	3,497					
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh	0.351					
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年	()年	()年	()年	()年
グリーン証書の購 入	t-CO ₂						
クレジットの購入	t-CO ₂						
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1	リモートワーク	設計・開発・管理業務に従事する従業員へ リモートワークを適用	R4-6年度	
2	オンライン 会議	社内／社外会議をオンライン実施	R4-6年度	
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	単位	計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
			()年	()年	()年	()年	()年
保有車輛の数	台	25					
上記のうち 次世代自動車の数	台	0					
特記事項							

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	環境マネジメ ントシステム (EMS)	継続的改善を目的とした環境推進活動及び ISO14001認証継続	R4-6年度	
2	3R	分別廃棄の推進	R4-6年度	
3	生物多様性	毎月1回、製造所の外回りの清掃活動実施	R4-6年度	
4	その他	従業員への環境教育の推進	R4-6年度	
5				